



枇杷園士朗句集



我店ハ東宮 西月 ね
梅まきつゆ 其角り ねかし
雪もよきあす 日よ 二分ら ね
まゆよ ちかめ ねー ねう ね

七千の賢 文化東のこ

月あまの やー ちかめ ねう ね
我部も ちかめ ねう ね
はの上 ちかめ ねう ね
花も ねう ね

ふえあう

世わ ねう ねう ねう ね

都よのあう

大佛のあう ねう ねう ね
世と ねう ねう ねう ね
梅も ねう ねう ねう ね
何事も ねう ねう ねう ね
花の ねう ねう ね
老う ねう ねう ねう ね

浮沈むおのルしきと 晴
物くまきしをの 秋の門
はをよ何されはのり 秋
花をよさしとも 秋のみ

其の部

五月のやまを 風根わり 鳥の好

收亭より

物の毎時を 長良平 燈のむら

空也上人の心もさるも世人よりちひたりては
信たさひなる山の宿のさわりしきと 都回を過ぎ
藤庭のすわりて信たさひ色こいり傳のつらむさし
うらぶささるりれきもやけりけりけりけりけり
かよおひひささるもあつ山うさひささるひてん
ふれぬきい方もやうに河國はけりけりけりけり
むとこの大指きとふはきききききききききき
よあちうは海遊園うて大指のたのいあ声
白雲の頂え枝の色とさるあう有る地ちりて

これしてゆくもさうさおの山を根よんことさあすぬ
名を傳へる月になれいとも 漸の上
くれしよよ夢つもほしく 稼りな

増賀の信と悲と西谷の例とさうれくろき蕉翁の
真蹟ありふい暮雨花のそと物よそ枇杷園よ
秘箱しきう不意の人夢等もあつたれと 頼り
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
世園中よ 遊ひ来て我従よさうらりと金さ
盗むぬえの追ひ来るよこの連袂の跡よ
あつた人のしきもの名をぬきむおれと
いさきめしきむけいさう何ちれしき

終り 頼りてさうさうさうさうさうさうさうさうさう

さひぬりさうさうさうさうさうさうさうさうさう

伊勢は園より稀しと孔鼻亭と頼り

玉垣さうさうさうさうさうさうさうさうさう

世儀幸しおれよ

杉丸のさうさうさうさうさうさうさうさうさう

名もあつた酒店の頼り

田と植り人もかへさぬさうさうさうさうさう

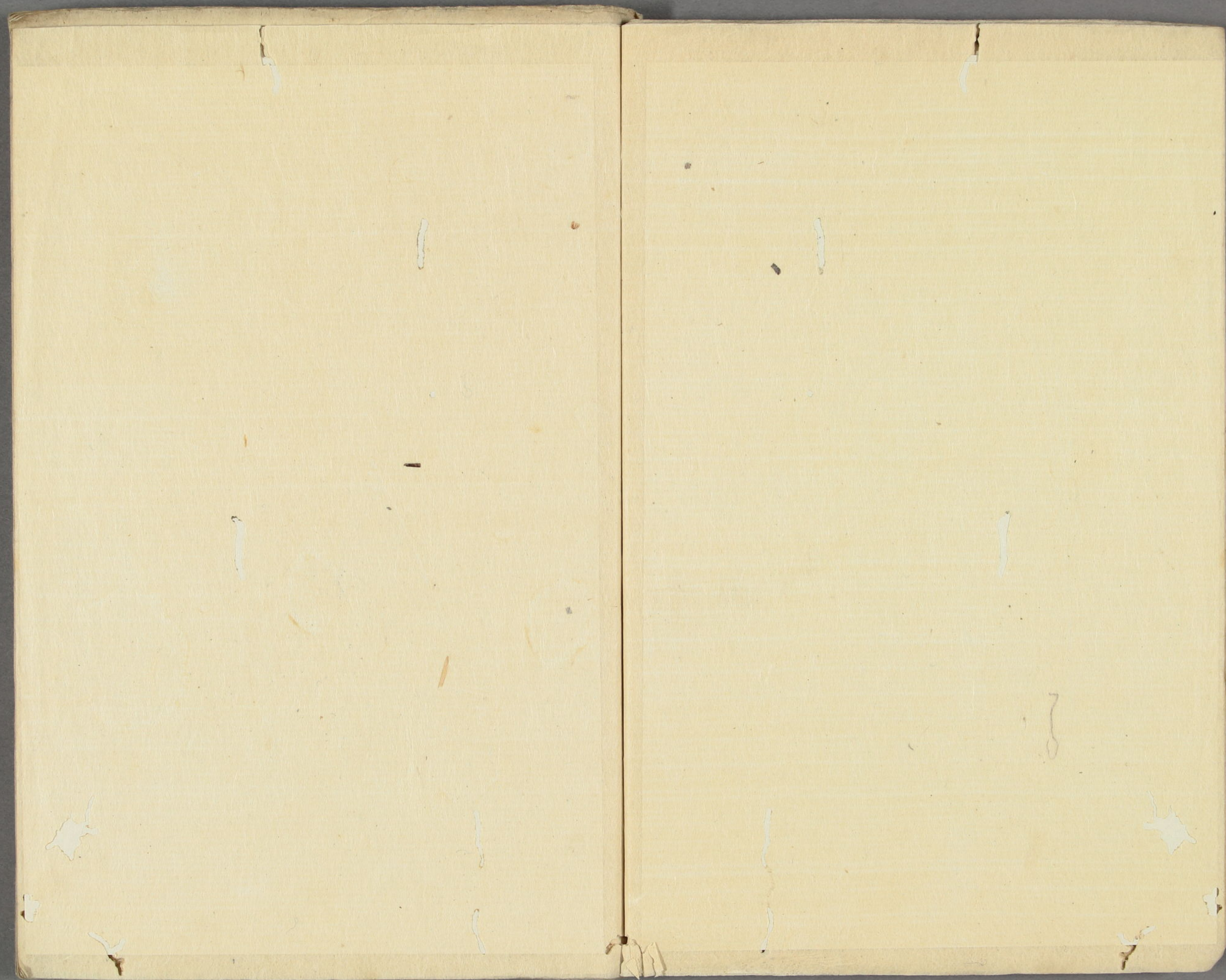
念佛と牙噛やさうさうさうさうさうさうさう

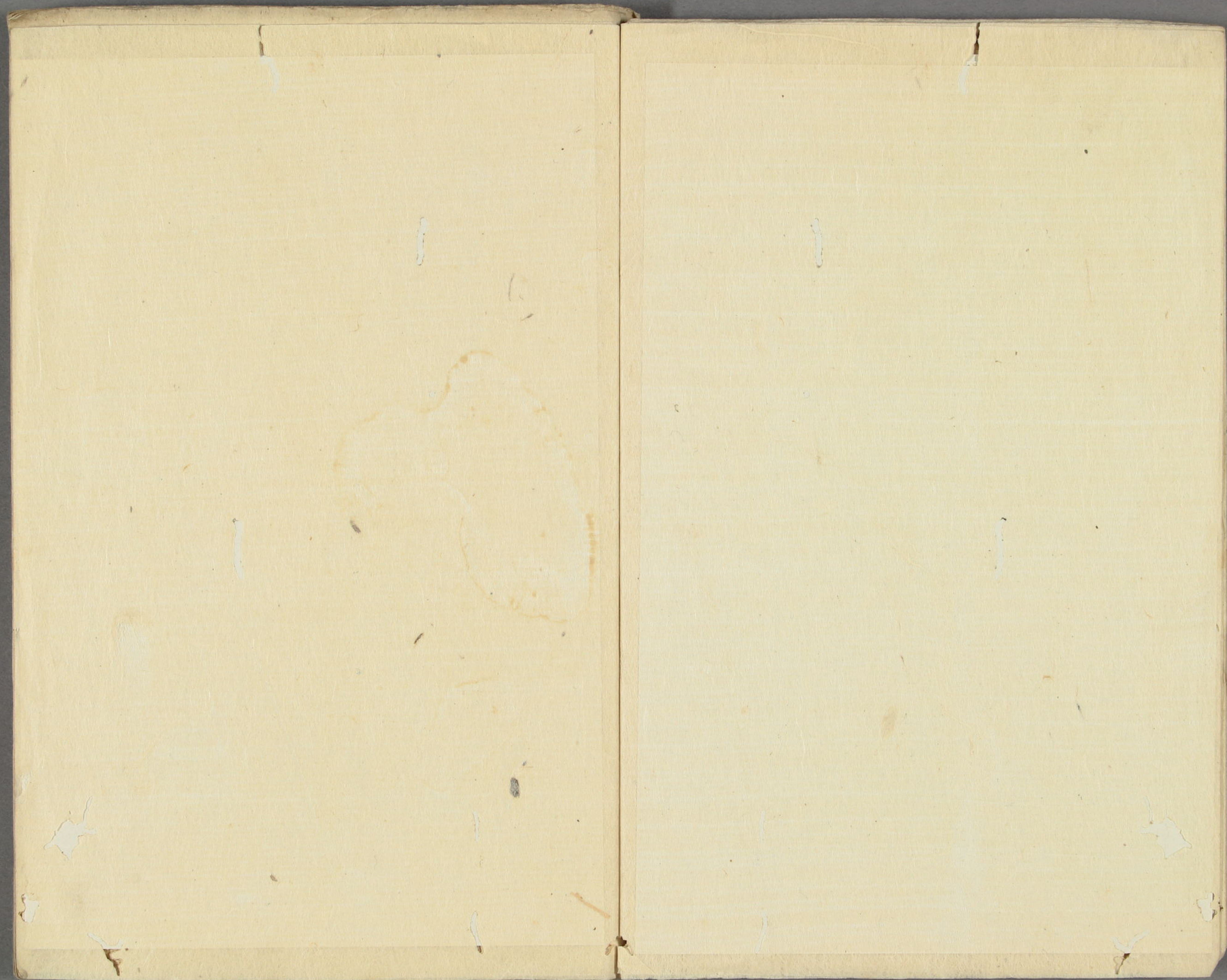
秋

市井をまこと括るるは君の好
いづれの世と世帯のねの枝
さや〜〜 新うらの笑かきあけ

陸奥亭より

老の吟りけ家しよと原のむ
天の川 紀のききみ 色りりり
ふりけよふく 似しものせ 二日月





その部

淋——まきく——や 中(ま)の 芒(ま)ちり
く——の 目(め)も 入(い)ぬ 枯(か)ゆ——た ま(ま)りき
栢(か)寺(じ)や 萩(か)の 中(な)く—— 写(し)ふ——
湖(う)を 野(の)と——うの—— 夜(よ)ゆけ
ふの 暮(く)まふ—— 中(な)まき—— 立(た)ち—— せ 辰
は 朝(あ)—— 中(な) 海(う)—— といふ—— 一(いつ) 栢(か)月
むつ—— け 中(な) 枯(か)ゆの 中(な) ま(ま)りき

菊の枯をむよふくをみる蛙うね
くくしよい冬てふあまを雪よの春
世くうりよせくや月淡り丸の春
寒くつれぬ澳村の柳枯よく
枯くや世をよむ句の底の犬
初雪や人のうれくを梅送

客舎

あもわきあそこのなと神たき
初くしのさくもさぬ山家ひ

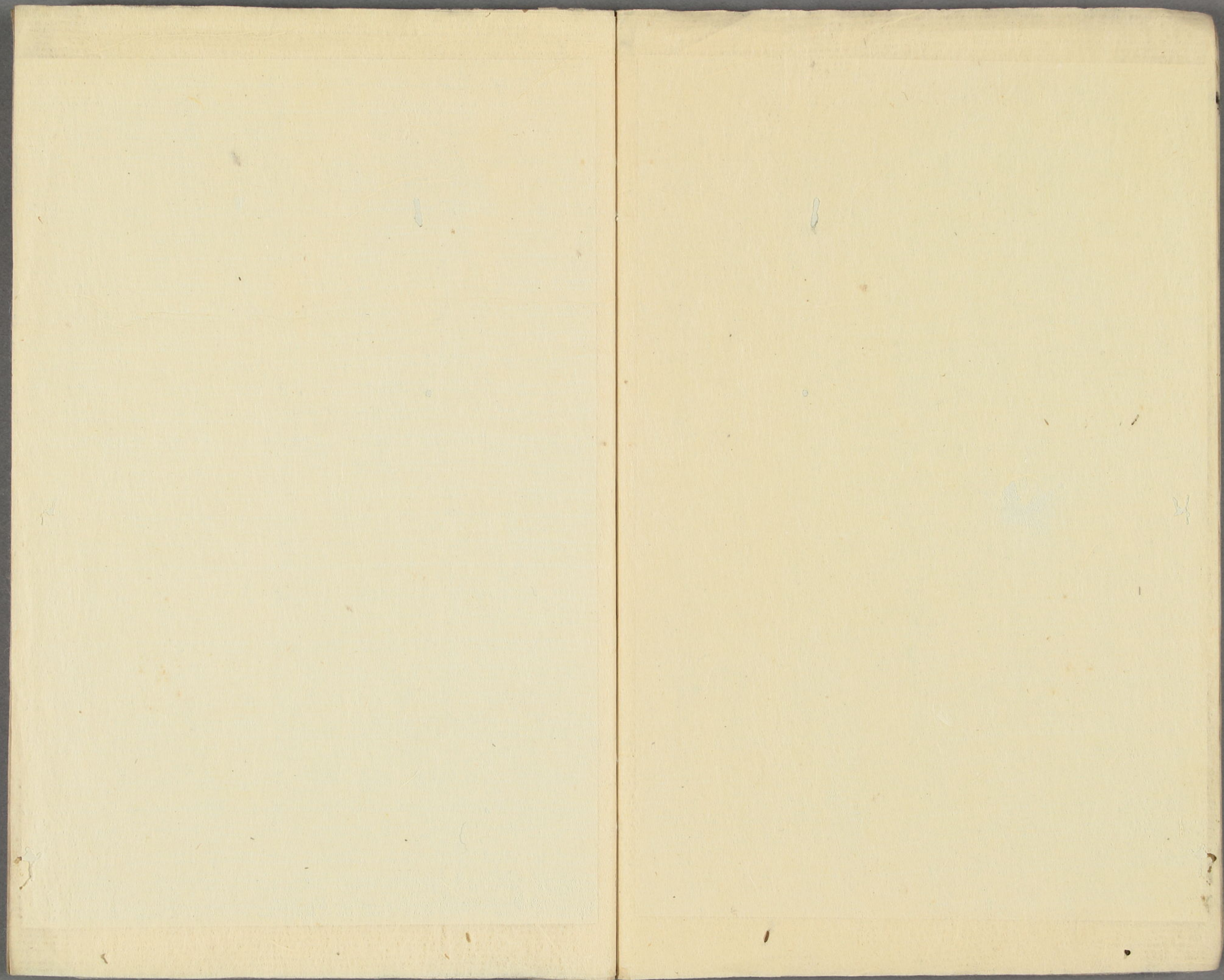
光琳のふきやうあり古巻扇
^世くくくくくくくくくくくくくくく
初くくくくくくくくくくくく
さくくくくくくくくくくくく
まき野くくくくくくくくくくく
初伸きくくくくくくくくくく
楊花や古人のやの少老時
志くくくくくくくくくくく
曙や嵐をきくくくくくく

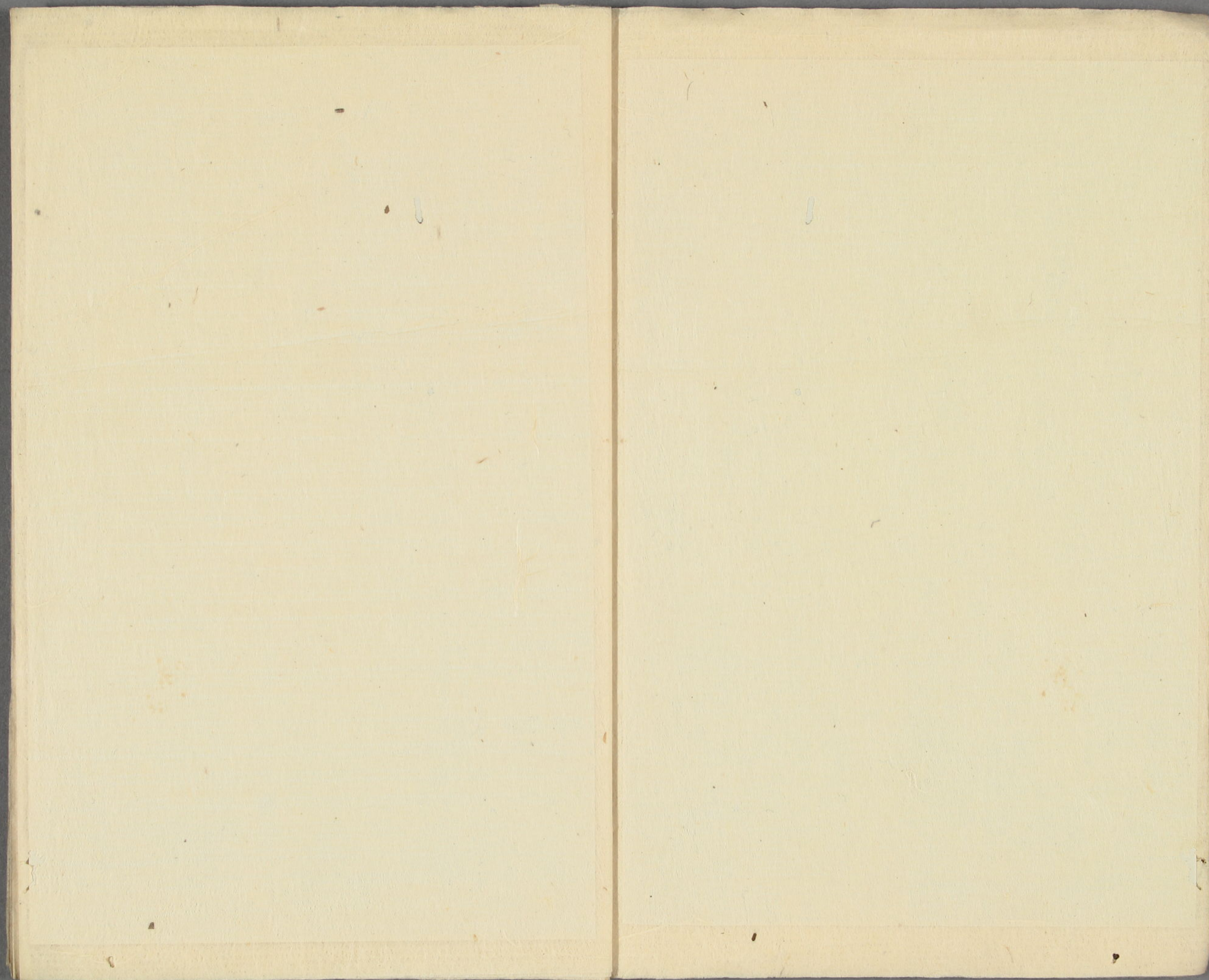
夕ぐれゆく岸にけしむる 軒のま
糸石の松をわらうりぞうさ 岸
捨果し一才のひまもこころか
毎のまをく今夜のまわるねも
あまふ港の猿もくねるる 白鷺か
稲妻のありねのよひぬあめの雲
煙掃や 鮫のまをりまぬの陰
ふんよふりたてたての月影か

畑中を掃一色のまを 葉のま
牛乳の破あまのまのまのま
風やうねるまのまの他の物
ちりちりも風のまのまのま
風や海一まのまのまのま
ふんまのまのまのまのまのま
あまのまのまのまのまのま
あまのまのまのまのまのま
あまのまのまのまのまのま

象拵を 藤も 甚も ちりり
尾花拵を くらり ありき
葉の 花よ 何の 香り あり あり
葉の 心 の ねえ くらり 白ひ川
細代を 油も 山の ぶら あり
七海 嵐 干 只 油 の きい たり あり
折が 一ハ 笈を つら あり あり
えりの 葉も きたり くらり あり
本巻や ねれ くらり あり あり 日

南は 月 長 南 無き あり あり
り 年 又 こ くらり あり あり
年 け や くらり あり あり
き くらり あり あり あり
山 あり あり
あり あり あり あり あり





以下
3丁
白紙

芝蘭集

古印撰

其子角新撰集